中村 隆幸委員長の開会挨拶

切実な要求掲げ政治を変えよう

東京土建第76回定期大会にあたりご挨拶申し上げます。

昨年2月に起きたロシアによるウクライナへの軍事侵攻から丸1年が経ち、この1年間私たち国民は平和の大切さをあらためて考えさせられました。報道で見る限り、民間人を含み多くの被害が出ています。戦争は大量殺りくと破壊でしかありません。そして軍事産業を営む大手資本の儲けの機会でしかありません。

今日本は防衛費を拡大し、「新しい戦前」とも言われるような大軍拡の道、戦争をする国へ進んでいると言っても過言ではありません。あらためて平和の尊さを本大会でも確認していきたいと思います。

あいさつする中村委員長

組合は窮状を訴える仲間に寄り添い、2020年より誰一人取り残さない建設アクションを立ち上げました。首都圏組合や関西、四国、九州の仲間とも共同し、現在のきびしい情勢下で苦しむ労働者と零細業者への救済対策を通じ、貧困と格差の問題、社会保障の崩壊、消費税・インボイス制度を始めとする不平等税制など社会の矛盾と向き合い、仲間の声や要求を国や自治体へ要請をし、対策、制度を拡充しながら建設アクション運動を発展、強化してきました。

同時に組織拡大強化の運動を進めてきました。きびしい状況下であるからこそ、全支部が取り組み、行動成果を仲間に返していきながら、コロナ禍だからこそやるべきこと、労働組合の役割、困難な時こそ仲間のつながりを拡大運動に活かしてきました。

大幅賃上げ勝ちとろう

アスベスト訴訟では、一昨年の最高裁判決以降、一人親方を含め、国に対してはほぼ全面勝利と言える内容で今日まで至っています。しかし被告、建材企業はいまだ被害者に背を向け続けています。最高裁判決で断罪された10社は差戻審や継続訴訟において判決引き延ばしの抵抗を行ない、補償基金への参加はもとより、原告、弁護団との和解に背を向け続けています。初の提訴から15年を経て、多くの原告、被害者の方々が亡くなられています。裁判によらない給付金支給をめざし、早期の全面解決と補償基金制度の創設、そしてアスベスト被害全面根絶に向けて引き続きがんばっていきます。

また現在の物価、価格高騰で苦しむ状況を打破するためには大幅な賃金引き上げを勝ち取らなければなりません。大企業、大資本の利益優先政策による格差と貧困をただし、建設業者の倒産や雇用の不安定さが広がる状況は食い止めなければなりません。

防衛費増と大増税に反対、消費税の減税、インボイス導入中止、物価高対策を行ない、マイナンバー制度・マイナンバーカードの保険証との一体化反対など、間違ったそして強権的な政府の政策にはしっかりノーを突きつけ、大きな世論の力ではね返していかなければなりません。

原発問題でも東日本大震災から12年が経ち、福島原発事故の避難者に対する支援が打ち切られた今もなお、多くの人たちがいまだ難民化していることをしっかりと考えなければなりません。政府の原発再稼働の前のめり方針は絶対に許すことはできません。

4月には一斉地方選挙が行なわれます。東京土建は政党支持の自由、思想・信条の自由を厳格に守りながら、要求実現アクションにあるとおり、要求をしっかりと掲げ投票を呼びかけていきます。

第76回大会宣言

東京土建一般労働組合第76回大会は、新型コロナウイルス感染症拡大3年目をむかえた2022年において、建設アクション運動を中心とした大運動の総括と、コロナ禍や物価高騰で苦しんでいる仲間の要求を実現させるべく運動の前進と組織拡大・強化を仲間の団結で勝ち取る運動方針を決議しました。

コロナ禍により貧困と格差は拡大し、社会保障制度の脆弱性が明らかになっただけでなく、効果的な対策が講じられない状況の中、国民の行動は制限され経済にも影響を及ぼしています。さらに、2022年2月24日にロシアがウクライナ侵攻し、ウクライナで多くの市民が被害を受けただけでなく、国際秩序と平和を脅かすロシアの暴挙は世界経済にも影響を与え、政府の円安対策の無策ぶりやコロナ禍も相まって、異常な物価高に見舞われ国民生活に大きな打撃となりました。一方で、生活を支える労働者の賃金は全くあがらず、「賃金が上がらない国」と不名誉な認識を世界に与えるほど深刻な状況に陥り、労働者は憲法で保障されている文化的な生活にはほど遠い実態を強いられています。

国民生活が危機的な状況にあるにもかかわらず、政府はウクライナ侵攻や台湾情勢を誇張して大軍拡へとシフトし、日本を戦争へ巻き込むだけでなく、大軍拡の費用を増税により国民へ押しつけようとしています。いま、求められるのは憲法を生活へ活かす施策であり、国民生活の基礎となる平和を脅かし、国民の命も奪いかねない大軍拡路線は、労働者として、国民として断じて許すわけにはいきません。

仲間の仕事を取り巻く環境も深刻です。政府が本年実施を強行しようとしているインボイス制度は、免税業者に新たな税負担を押しつけ、煩雑な事務を課すなど、小零細事業者ほどその負担は重くなります。日本経済を支える小零細業者、そして一人親方を含めたフリーランスをないがしろにする制度は断固として廃止させ、そして害悪の根本となる逆進性の高い非近代的な税制である消費税を抜本的に見直しさせることが求められます。

安心して暮らせる社会にむけて、社会保障制度の拡充も急務です。フードバンクにみられる市民運動の広がりは、社会保障の脆弱性が招いた典型的な活動であり、社会全体の生活水準を引き上げる施策と同時に社会保障制度の拡充により、SDGsにある貧困の解消、健康的な生活と福祉の促進などをすすめ、持続可能な社会の実現へと結びつくものです。

われわれ労働組合は、仲間の仕事と暮らしを守るため、建設アクション運動を引き続き柱にしながら本大会で確認した7つの課題を重点に奮闘する決意を固めました。先人達は、綱領に示すとおり大衆的、民主的、階級的労働組合の建設を掲げ、大運動を展開することで仲間の要求を実現してきました。まずは、「賃金が上がらない国」の状況を労働者の大同団結で打破し、CCUS制度を活用した建設産業の処遇改善運動を前進させ、仕事確保、民主的な税制の構築と社会保障制度の拡充など、要求が一致する団体や個人との連帯を中央・地域で大いにすすめ大運動を展開します。安心して暮らせる社会の基礎は平和と環境改善、人権と民主主義の確立です。労働組合として、平和な社会の実現を希求し、気候変動に対応したエネルギー政策の実現、ジェンダー平等や外国人問題も含めた人権尊重、そして民主主義を取り戻し、綱領に明記された「国民諸階層の運動の先頭にたち」を実践する決意です。

物価高による生活苦と平和が脅かされている状況は、世界規模で広がっています。各国では、生活改善にむけた賃金要求、平和を守る運動で労働組合が立ち上がり、労働組合の大同団結と諸団体・国民と連帯して、数十万規模のデモで抗議の声をあげています。われわれも、先進的な労働組合として、連帯の輪を広め諸運動に邁進します。

運動の前進にむけ、組織拡大と組織強化を大きく前進させることは必須となります。労働者の過半数の組織化を展望し、全都で組織拡大運動に全力をあげ、必ずや実増を勝ち取ります。76回大会の方針と綱領の理念に則り、労働者の団結を大きく深め奮闘することを宣言します。

2023年3月19日

東京土建一般労働組合　第76回定期大会

2023年度新中央執行委員会

〈中央執行委員長〉
中村　隆幸（杉並）

〈中央副執行委員長〉
石川　信一（北）
渡辺　義久（三鷹武蔵野）
松本　久人（江戸川）
石村　英明（府中国立）
佐藤　豊（目黒）
丸山　篤義（多摩・稲城）

〈書記長〉
小番　徹（北）

〈書記次長〉
中宿　稔（三鷹武蔵野）
中原　收（小平東村山）
木村　潮人（江戸川）
熊切　健二（杉並）
北川　誠太郎（世田谷）

〈常任中央執行委員〉
大木　栄一（江東）
塩野　操（大田）
檜山　剛志（多摩西部）
川口　敏彦（調布）
市川　享（西多摩）
小坂　剛（西東京）
上原　誠（練馬）
佐藤　里志（渋谷）
後藤　英雄（葛飾）
土橋　弘典（豊島）

〈専従常任中央執行委員〉
山本　高明（中野）
栗橋　宏（墨田）
御崎　誠人（港）
吉川　豊（文京）
田村　彰宏（世田谷）
佐藤　広平（豊島）
茂呂　裕一（江東）
唐澤　一喜（練馬）
黒木　強（多摩・稲城）

〈中央執行委員〉
波平　永（足立）
津田　宗久（荒川）
及川　光太郎（葛飾）
奥村　歳久（文京）
寺山　邦裕（台東）
藤川　善清（墨田）
冨樫　康弘（江東）
遠藤　喜世志（江戸川）
山本　清志（板橋）
宮本　卓廣（豊島）
渡辺　勝二（北）
福岡　忠行（練馬）
出井　章史（港）
小林　紀久夫（品川）
井澤　典一（大田）
佐藤　忍（目黒）
小倉　常良（渋谷）
秋元　正眞（世田谷）
伊藤　賢司（新宿）
阿部　秀晴（中野）
鎗田　登美雄（杉並）
島村　新（三鷹武蔵野）
宗像　勇（狛江）
佐藤　眞理子（調布）
木下　和成（多摩西部）
宮崎　透（西多摩）
鯉淵　勝也（小金井国分寺）
宮澤　和也（府中国立）
矢吹　一幸（八王子）
髙木　一（日野）
三橋　誠（多摩・稲城）
尾花　慎司（町田）
井上　清一（小平東村山）
前川　達夫（清瀬久留米）
島﨑　慶一（西東京）
宮澤　良明（村山大和）
＊書記、ブロックより1人
野本　章平（東部B）
釜谷　邦朗（江東B）
寺島　耕平（城北B）
沼口　剛（南部B）
山本　雅人（西部B）
佐々木　建（多摩東B）
世並　佳史（多摩西B）
大野　克宏（多摩南B）
山内　真実（多摩北B）

〈常任中央執行委員待遇〉
中村　哲郎（西東京）
西岡　貴之（杉並）
山本　繁樹（江東）
栄　大翔（調布）
君塚　徳子（町田）

〈中央執行委員待遇〉
三宅　修平（杉並）
小野瀬　有香（江東）
髙嶺　俊一（多摩・稲城）

〈会計監査〉
穴澤　秀康（板橋）
花岡　康雄（江東）
田波　和也（狛江）

＊新役員の任務分担は次号掲載予定